

新幹線プレス

2015年7月17日

No.236

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

安保関連法案＝戦争法案の強行採決弾劾！！

7月16日、同盟国を武力で守る集団的自衛権の行使容認を柱とする安全保障関連法案が衆議院本会議で強行採決され、自民・公明両党の賛成によって可決された。

私たちは、憲法違反である戦争法案＝安保関連法案の強行採決という歴史的暴挙を弾劾し、法案廃案まで断固闘う。

安倍首相は、「残念ながらまだ国民の理解が進んでいない」と政府の国民への説明不足を認めながら、6割を超える法案に反対する国民の声、歴代の内閣法制局長官、憲法学者を含む学者の会の1万名を超える「憲法違反」の声、そして国会包囲デモや全国各地で巻き起こった集会やデモを無視して、強行採決という暴挙に出たのである。

私たちは、戦後70年守り抜いてきた憲法9条に基づく平和と民主主義の破壊を許すわけにはいかない。

安倍政権の暴走を許さず戦争法案廃案に向けて闘おう！！

私たちは決して悲観的にはならない。国会論戦は、これから参議院の場へと移る。この国会会期中にされに大衆運動を拡大強化し、戦争法案を廃案にしなければならない。

戦争はいつも自衛を名目に始められる。戦場に駆り出されるのは自衛隊員だけにとどまらない。戦争突入を決めた権力者は安全な場に身を置き、弱い立場の者が前線に送られる。そう、戦場に駆り出されるのは私たち自身であり、私たちの子や孫なのだ。

今国会を安倍政権の終わりの始まりにしなければならない。

反対運動の大きなうねりをつくりだし、大衆の大きなNO！の声を安倍政権につきつけようではないか！

国会で闘うたしろかおる参議院議員と連帯し、安倍政権弾劾！戦争法案廃案！憲法改悪を許さない取り組みを組織の総力を挙げて闘おう！！